

1. 海岸保全施設長寿命化計画概要

1.1 計画目的

海岸保全施設は老朽化した施設の急速な増加が予想されており、維持管理に要する費用の縮減や平準化を図りつつ、持続的に防護機能を確保していくためにライフサイクルマネジメント（LCM）の考え方に基づく予防保全型の維持管理が重要となる。そのため、常滑市所管の漁港海岸において海岸保全施設の調査・点検を行い、予防保全の考え方に基づいた施設の長寿命化計画を策定した。

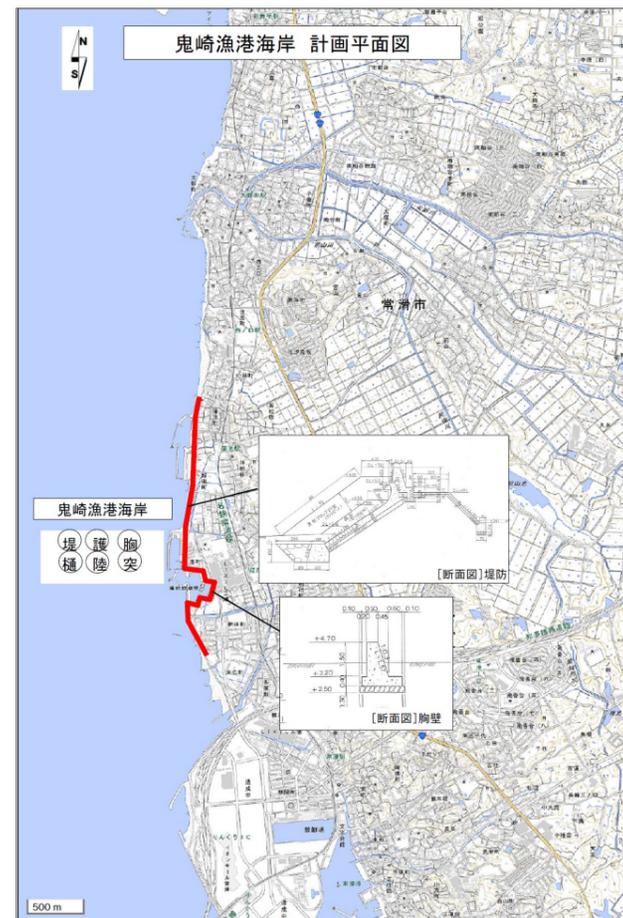
1.2 海岸保全施設長寿命化計画策定概要

海岸保全施設計画策定概要を下表に示す。

策定年度	対象海岸名（地区名）	備考
平成 30 年度 (平成 31 年 3 月策定)	鬼崎漁港海岸（鬼崎地区）	対象施設： 防潮堤、突堤、水門、陸閘 (右写真参照)
平成 31 年度 (令和 2 年 3 月策定)	大野漁港海岸、 苅屋漁港海岸・常滑海岸（大谷・小鈴谷地区）	

1.3 計画策定範囲

海岸保全施設長寿命化計画の対象範囲を下图に示す。



1.4 計画策定方法

海岸保全施設長寿命化計画は、「海岸保全施設維持管理マニュアル、農林水産省農村振興局防災課、農林水産省水産庁防災漁村課、国土交通省水管理・国土保全局海岸室、国土交通省港湾局海岸・防災課（以下、維持管理マニュアルという）」に準じて策定した。

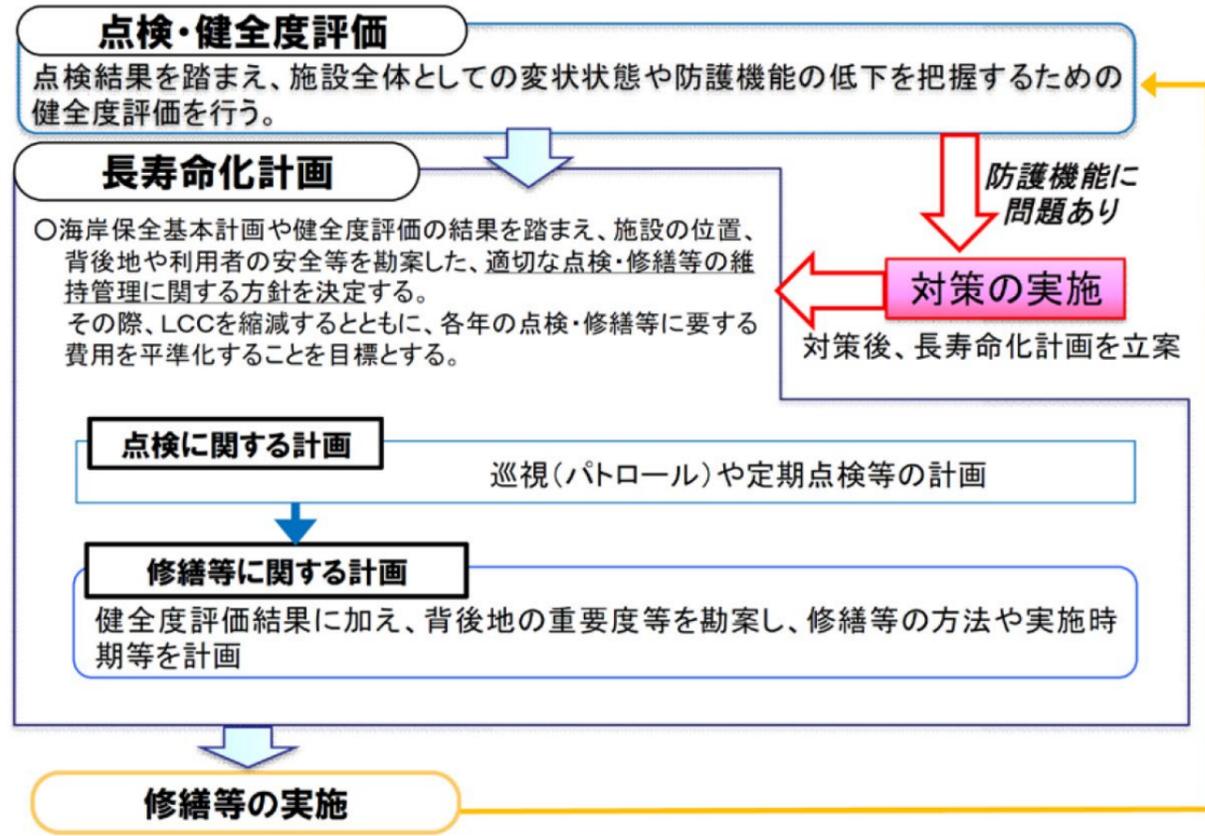


図 1.1 長寿命化計画の全体像

2. 点検・健全度評価

2.1 点検調査

点検調査は維持管理マニュアルの点検項目に準じて実施した。

表 2.1 堤防・護岸等の一次点検項目の一覧

点検位置	点検項目 ^{注1)}	確認する項目	目的
天端高	天端の高さ	必要高さに対する不足	天端の沈下の把握
波返工 (胸壁については堤体工)	ひび割れ	ひび割れの有無	波返工の強度低下の可能性の把握
	剥離・剥落・欠損	剥離・剥落・欠損の有無	
	鉄筋の腐食	錆汁、鉄筋露出の有無	天端の沈下の把握
	隣接スパンとの相対移動	隣接スパンとの高低差、ずれ、目地の開きの有無	
修繕箇所	修繕箇所における変状の発生の有無	修繕の適切性の把握	
天端被覆工 (水叩き工を含む)、 表法被覆工、 裏法被覆工	ひび割れ	ひび割れの有無	吸出しによる空洞の発生可能性の把握
	目地部、打継ぎ部の状況	目地材の有無、隙間・ずれの有無	
	剥離・損傷	剥離・損傷の有無	天端の沈下及び吸出しによる空洞の発生可能性の把握
	沈下・陥没	沈下・陥没の有無	
	漏水	漏水の痕跡の有無	修繕の適切性の把握
	植生の異常(繁茂等) ^{注2)}	植生の異常(繁茂等)の有無	
修繕箇所	修繕箇所における変状の発生の有無		
排水工	目地のずれ	高低差・ずれ・開きの有無	天端の沈下の把握
	修繕箇所	修繕箇所における変状の発生の有無	修繕の適切性の把握
消波工 根固工	移動・散乱	ブロックの移動・散乱の有無	吸出しによる空洞の発生可能性の把握
	破損	ブロックのひび割れ・損傷の有無	
	沈下	消波工の天端と波返工等の高低差の異常の有無	
砂浜	侵食・堆積	砂浜の侵食、浜崖形成の有無、浜幅の減少	吸出しによる空洞の発生可能性の把握

2.2 削孔調査

点検調査の結果、空洞化が予想される箇所について削孔調査を実施した。削孔調査は、護岸本体工背後地でハンマードリルにより天端コンクリートを削孔し、ピンポールによって空洞深さの計測を行った。作業完了後、調査孔は速乾性モルタルにより補修した。



削孔状況



削孔



空洞深さ測定

2.3 健全度評価

点検調査から維持管理マニュアルの評価基準に準じて健全度の評価を行った。

表 2.2 天端被覆工・表法被覆工・裏法被覆工に対する評価

変状現象	変状のランク (確認される変状の程度)			
	a	b	c	d
防護高さの不足 ^{注1)}	防護高さを満足していない。	-	-	防護高さを満足している。
沈下・陥没	陥没がある。	沈下による凹部が目立つ。	-	部分的な沈下が見られるか、沈下が見られない。
ひび割れ	部材背面まで達するひび割れ・亀裂が生じている(幅5mm程度以上)。	複数方向に幅数mm程度のひび割れがあるが、背面までは達していない。	1方向に幅数mm程度のひび割れがあるが、背面までは達していない。	1mm以下のひび割れが生じているか、ひび割れが見られない。
目地部、打継ぎ部の状況	目地部、打継ぎ部のずれが大きく、堤体土砂の流出が見られる。	目地部、打継ぎ部より水の浸透がある。	目地部、打継ぎ部にずれがあるが、水の浸透はない。	目地部、打継ぎ部にずれ、段差、開きが見られない。
剥離・損傷	広範囲に破損、または流出している。	表面だけでなく部材の深部まで剥離・損傷が及んでいる。	広範囲であっても表面の剥離・損傷が生じている。	ごく小規模の剥離・損傷が生じているか、剥離・損傷が生じていない。
必要に応じて実施する項目 吸出し・空洞化	防護機能や安全性に影響のある大規模な空洞がある。	部分的に防護機能や安全性に影響のある空洞がある。	-	防護機能や安全性に影響のある空洞なし。

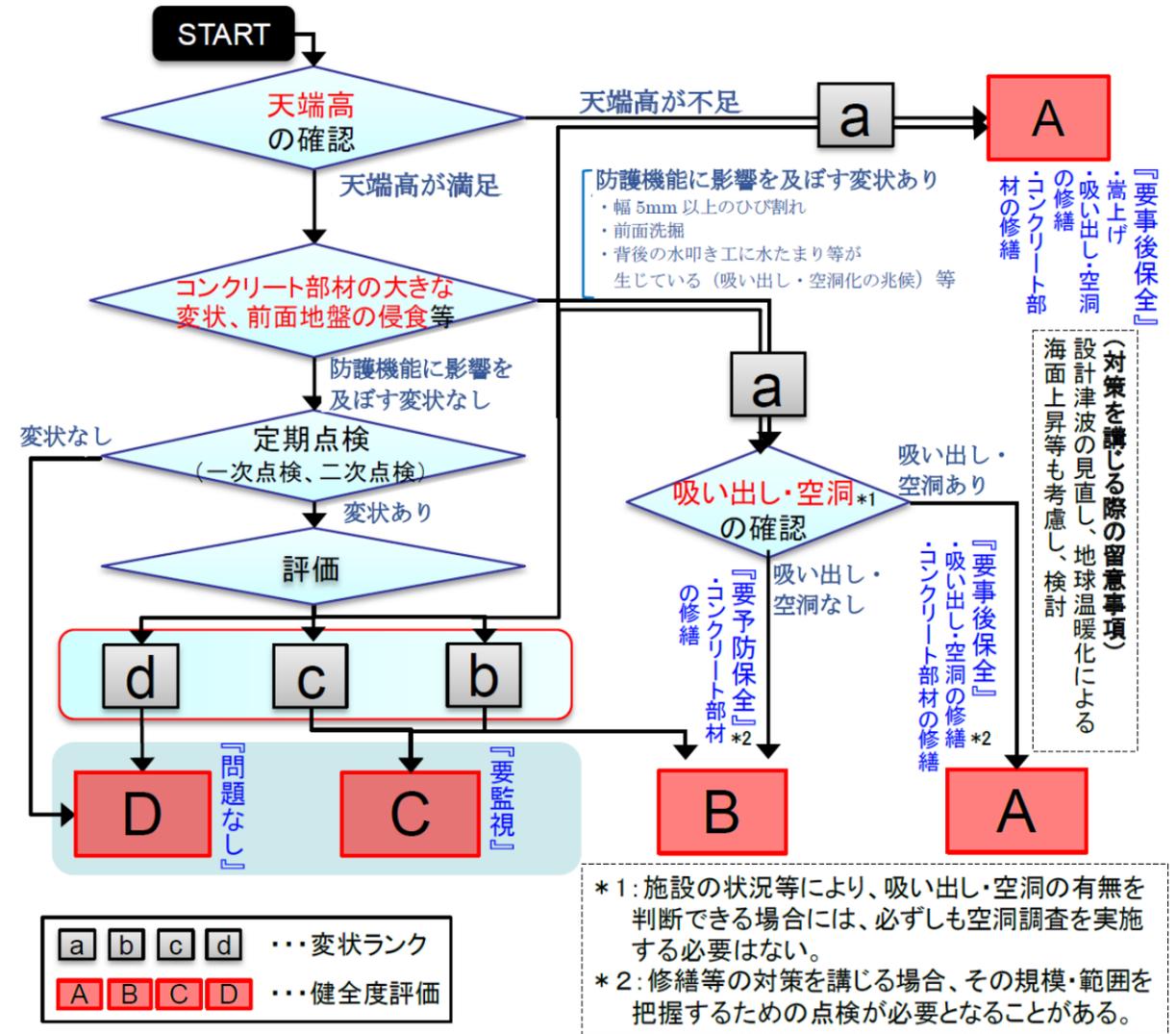


図 2.1 堤防・護岸等の健全度評価のフロー

3. 長寿命化計画書策定

3.1 劣化予測

将来の点検に関する計画及び修繕に関する計画を策定するために、維持管理マニュアルに準じて点検結果より判定した健全度劣化予測を行った。

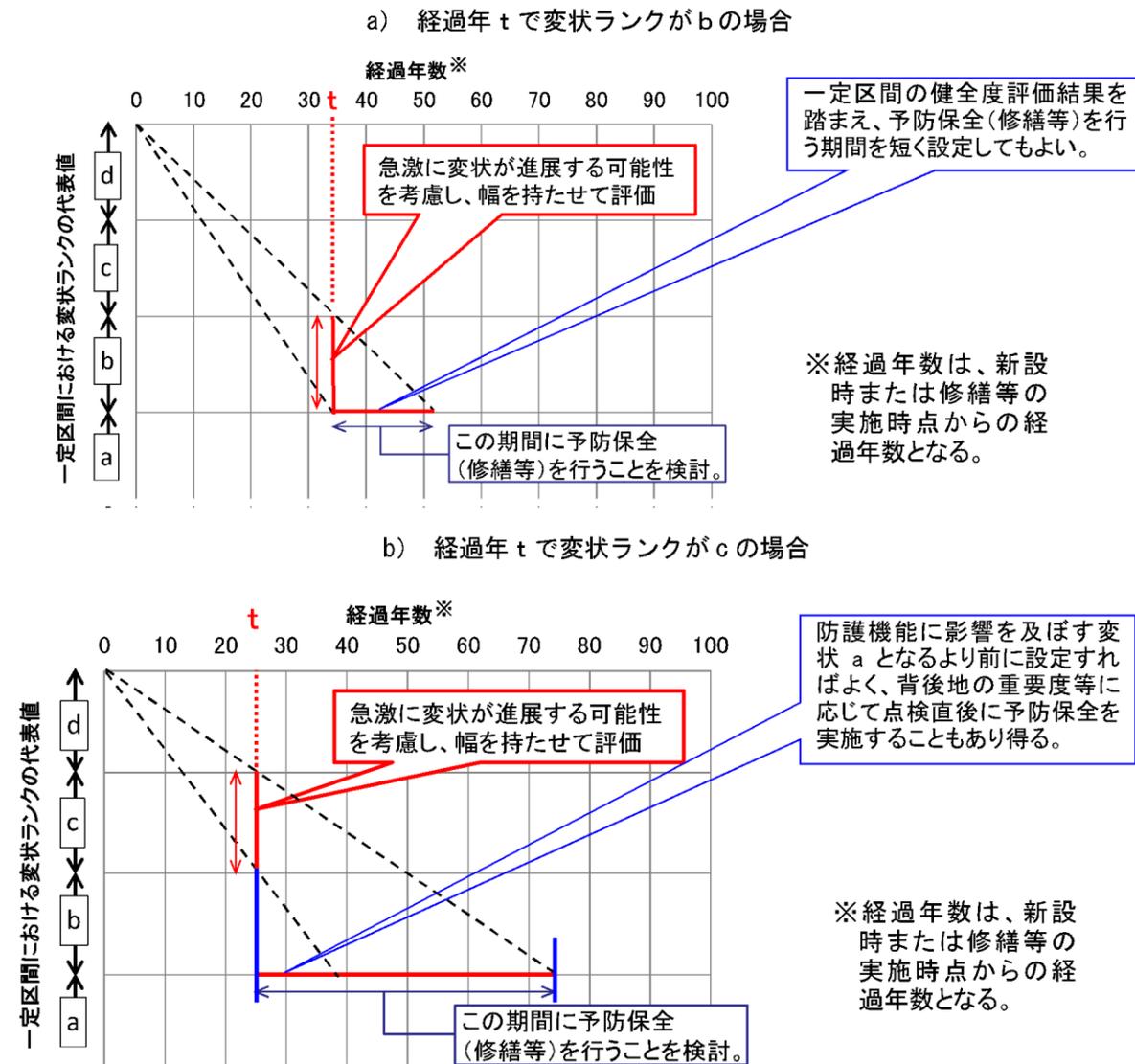


図 3.1 劣化予測と修繕時期のイメージ

3.2 点検に関する計画の概要

点検に関する計画では将来の点検実施内容、間隔、時期等を設定した。

表 3.1 土木構造物の点検の実施内容、間隔、時期等の概要

施設 種類	土木構造物			
	巡視(パトロール)	一次点検	二次点検	臨時点検
主な目的	<ul style="list-style-type: none"> 防護機能や背後地、利用者の安全に影響を及ぼすような大きな変状の発見 定期点検等で発見された変状の進展や新たな変状の把握 	<ul style="list-style-type: none"> 健全度評価、長寿命化計画更新、修繕等に必要の各部材の変状の把握 	<ul style="list-style-type: none"> 健全度評価、長寿命化計画更新、修繕等に必要の各部材の詳細な変状の把握 	<ul style="list-style-type: none"> 防護機能や背後地、利用者の安全に影響を及ぼすような大きな変状の発見
主な内容	<ul style="list-style-type: none"> 陸上からの目視等 	<ul style="list-style-type: none"> 陸上からの目視 	<ul style="list-style-type: none"> 近接目視 簡易な計測 必要に応じ詳細な調査 	<ul style="list-style-type: none"> 巡視(パトロール)の点検項目
間隔・実施時期	<ul style="list-style-type: none"> 1回/年 地域特性(台風期)を考慮して設定 	<ul style="list-style-type: none"> 1回程度/5年^{注1)}(通常の巡視等で異常が見つかった場合は、その都度) 地域特性を考慮して設定(台風期) 	<ul style="list-style-type: none"> 一次点検の結果より必要と判断された場合 	<ul style="list-style-type: none"> 地震、津波、高潮、高波等の発生後
実施範囲	<ul style="list-style-type: none"> 重点点検箇所(地形等により変状が起こりやすい箇所、実際に変状が確認された箇所等)を中心に施設全体 	<ul style="list-style-type: none"> 対象施設の全体 全延長を対象とするが、概ね5年で一巡するように順次実施。^{注2)} 	<ul style="list-style-type: none"> 一次点検の結果より必要と判断された箇所(代表断面での実施も可) 	<ul style="list-style-type: none"> 重点点検箇所(地形等により変状が起こりやすい箇所、実際に変状が確認された箇所等)を中心に施設全体

3.3 修繕に関する計画

施設の種類や利用状況、点検調査結果及び劣化予測等を考慮して、修繕等の優先順位とそれに基づく実施時期及び箇所を設定した。さらに、以上を踏まえて各施設の点検費用・修繕費用の概算を算定した。点検費用・修繕費用の算定結果を次頁に示す。

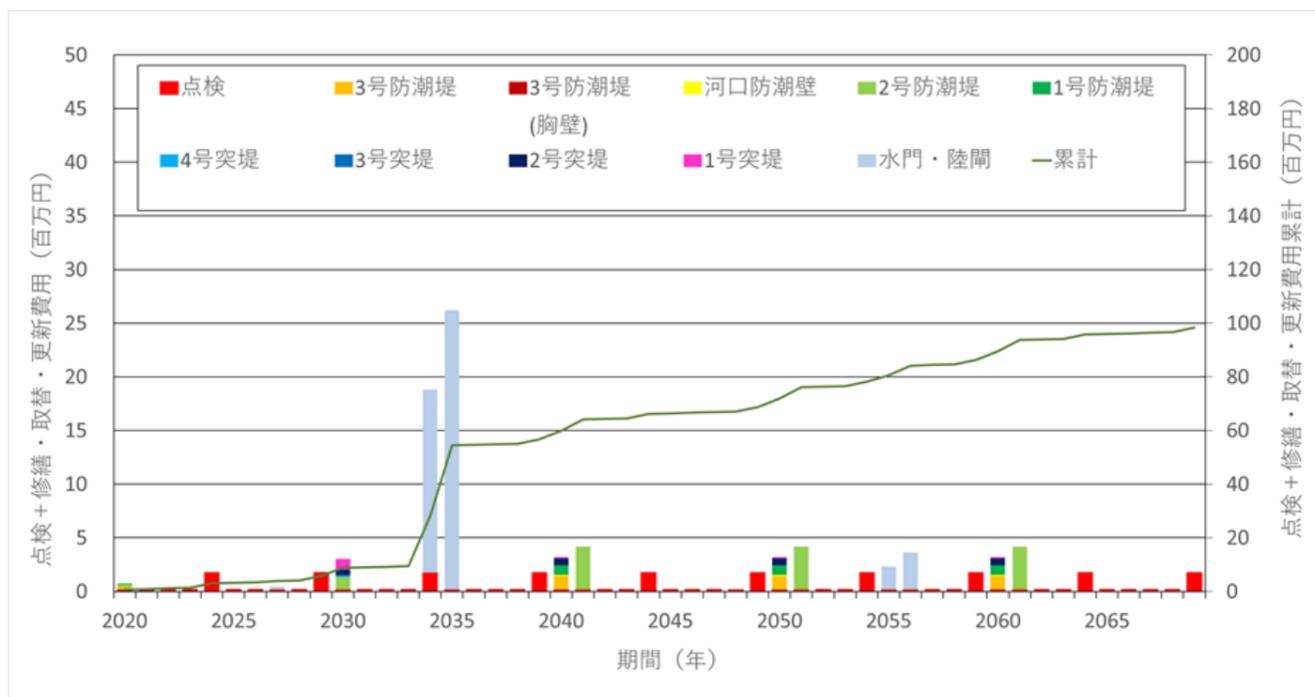


図 3.2 土木構造物、水門・陸閘等の設備の点検・修繕・取替・更新費用(平準化)
【大野漁港海岸】

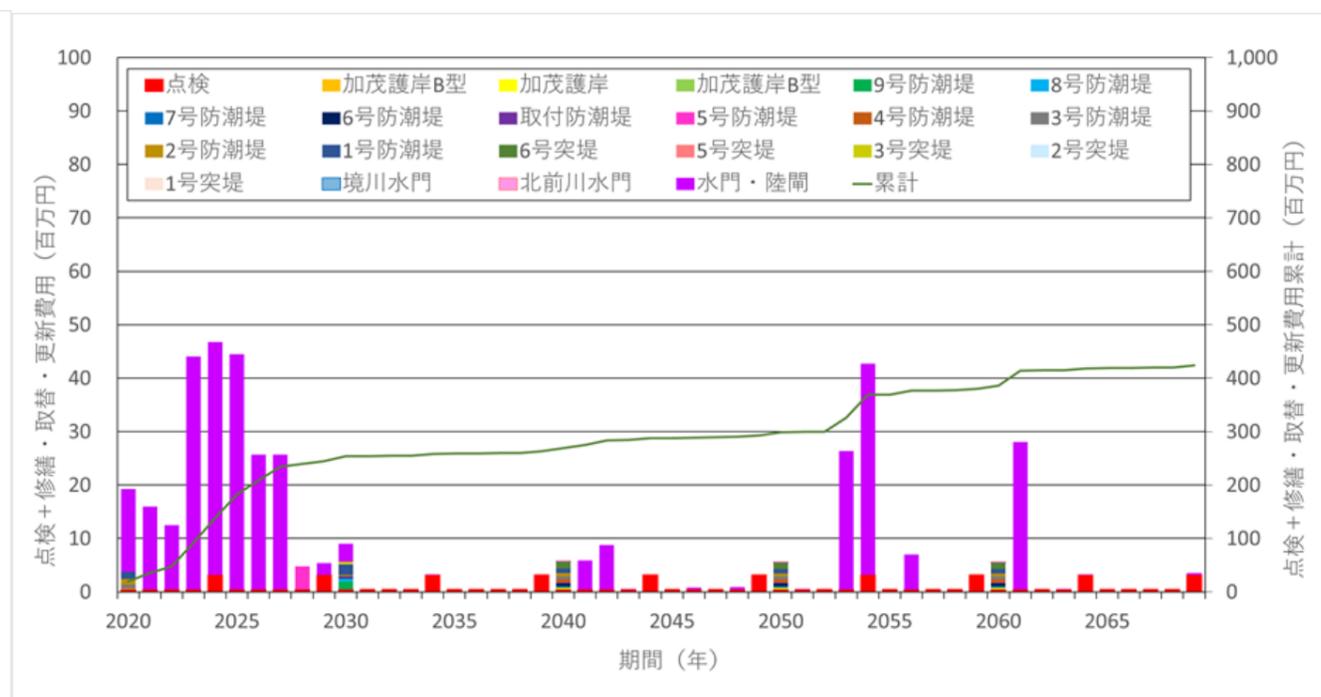


図 3.4 土木構造物、水門・陸閘等の設備の点検・修繕・取替・更新費用(平準化)
【苅屋漁港海岸】

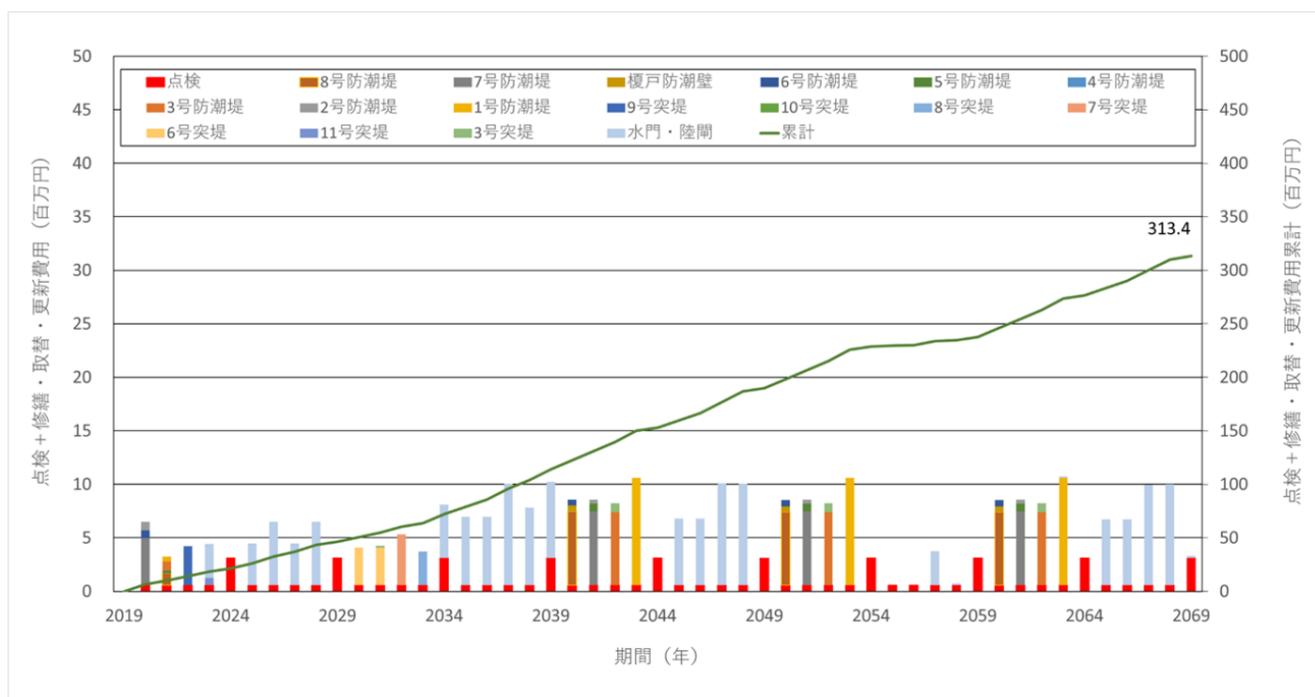


図 3.3 土木構造物、水門・陸閘等の設備の点検・修繕・取替・更新費用(平準化)
【鬼崎漁港海岸】

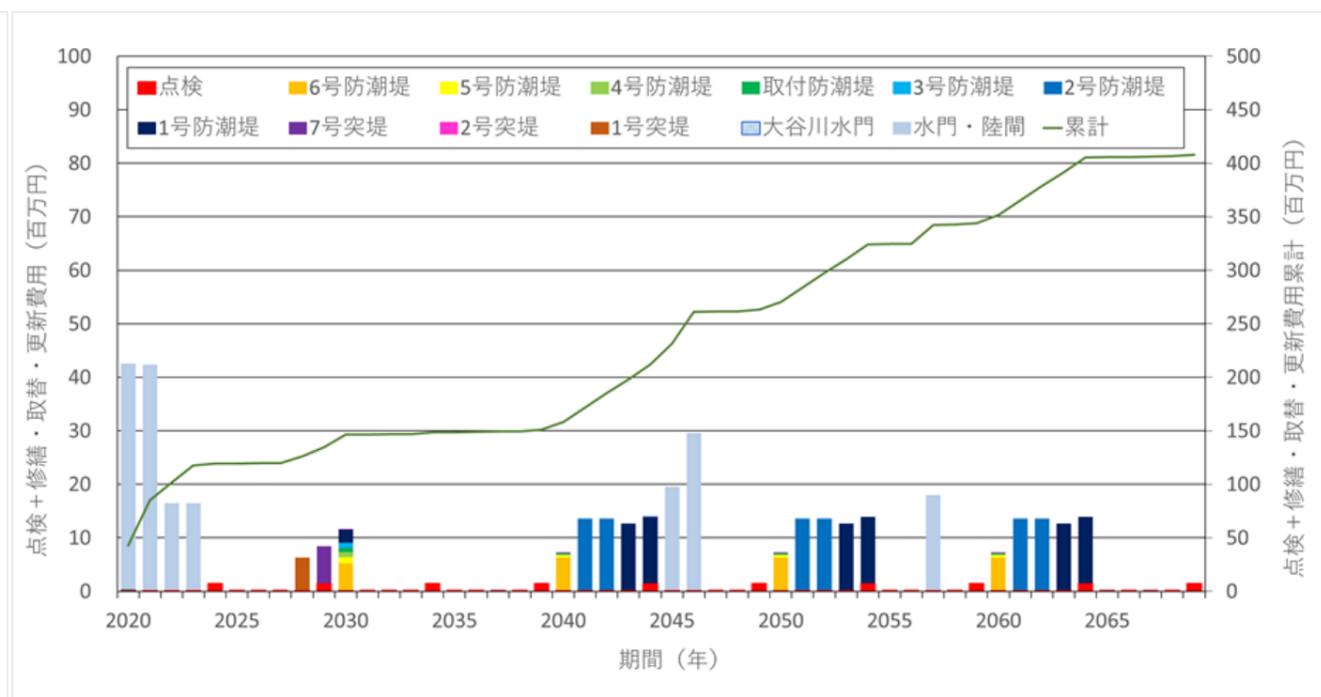


図 3.5 土木構造物、水門・陸閘等の設備の点検・修繕・取替・更新費用(平準化)
【小鈴谷漁港海岸(大谷地区)】

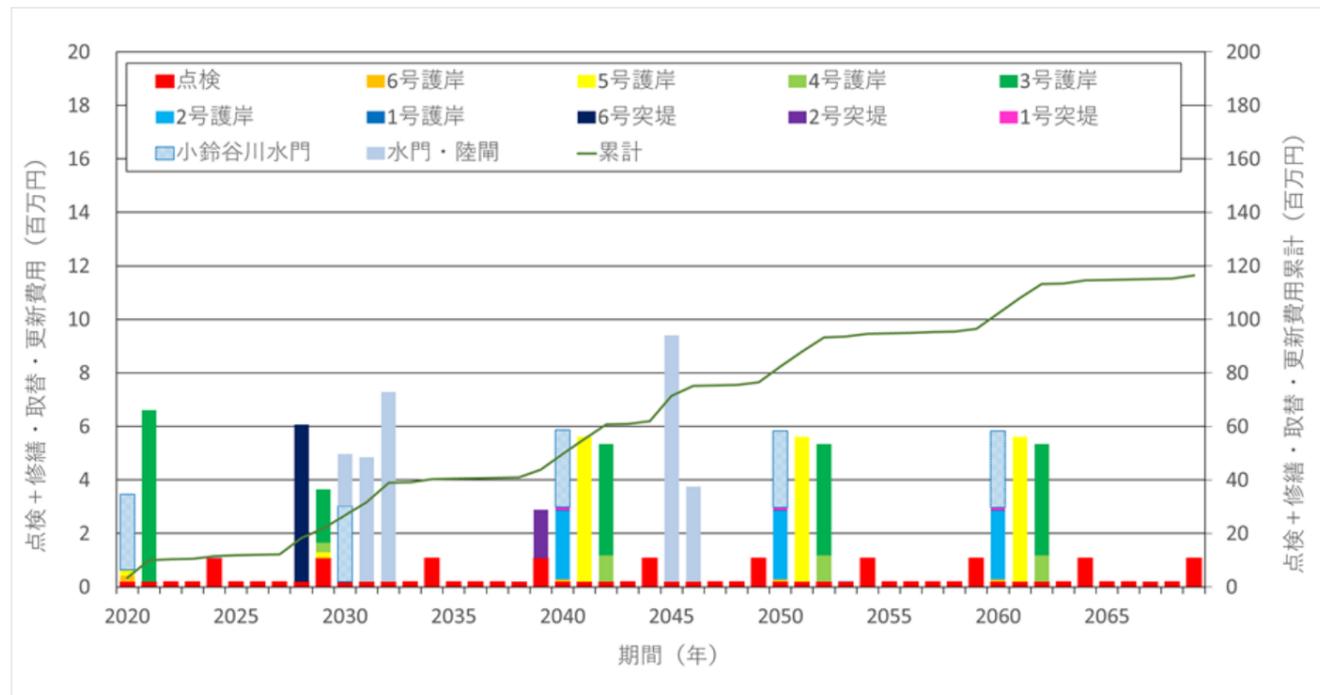


図 3.6 土木構造物、水門・陸閘等の設備の点検・修繕・取替・更新費用(平準化)
【小鈴谷漁港海岸(小鈴谷地区)】

常滑市漁港海岸長寿命化計画策定業務委託 ライフサイクルコスト一覧表（大野漁港海岸 大野地区）

海岸名	地区名	施設名	一定 区間 No.	漁港 台帳 番号	延長等 (m)	構造	竣工年等	健全度	変状 ランク 代表値	部材／主な変状	対策工法・部材
大野漁港	大野地区	3号防潮堤	1	4	258.1	傾斜型 コンクリート被覆フ ロック式	1985 (S60)	B	a	波返工、裏法被覆工：ひび割れ 天端被覆工：ひび割れ、剥離・損傷	波返工：樹脂・モルタル注入、撤去・打換え、断面修復 天端被覆工：樹脂・モルタル注入、断面修復、モルタル充填 裏法被覆工：樹脂・モルタル注入、撤去・打換え
		3号防潮堤 (胸壁)	2	4	10.1	直立型 重力式	1985 (S60)	D	d	顕著な変状は認められず経過観察	—
		河口防潮壁	3	17	104.0	直立型 重力式	1985 (S60)	C	c	波返工：ひび割れ	波返工：樹脂・モルタル注入
		2号防潮堤	4	3	377.3	緩傾斜型 コンクリート被覆フ ロック式 (階段式)	2005 (H17)	B	a	波返工：ひび割れ、剥離・損傷、目地・打継 天端被覆工、表法被覆工：ひび割れ 裏法被覆工：沈下・陥没	波返工、裏法被覆工：樹脂・モルタル注入、撤去・打換え、断面修復、モルタル充填 天端被覆工：樹脂・モルタル注入、撤去・打換え、モルタル充填 表法被覆工：樹脂・モルタル注入、撤去・打換え
		1号防潮堤	5	2	180.4	緩傾斜型 コンクリート被覆フ ロック式 (階段式)	2000 (H12)	B	a	波返工：ひび割れ、剥離・損傷、目地・打継 天端被覆工：ひび割れ	波返工：樹脂・モルタル注入、撤去・打換え、断面修復、モルタル充填 天端被覆工：樹脂・モルタル注入 表法被覆工：樹脂・モルタル注入、断面修復
		4号突堤	6	11	21.9	傾斜型 捨石式	1962 (S37)	B	a	天端被覆工：ゆるみ	天端被覆工：被覆石補充
		3号突堤	7	10	54.4	直立型 コンクリート方塊フ ロック式	1994 (H6)	D	d	顕著な変状は認められず経過観察	—
		2号突堤	8	9	50.6	混成型 コンクリート方塊フ ロック式	2000 (H12)	B	a	天端被覆工 ひび割れ、剥離・損傷 表法被覆工 ひび割れ 裏法被覆工 剥離・損傷、目地・打継	波返工：樹脂・モルタル注入、撤去・打換え、断面修復 表法被覆工：樹脂・モルタル注入、撤去・打換え 裏法被覆工：撤去・打換え、断面修復、モルタル充填
		1号突堤	9	8	54.0	混成型 コンクリート方塊フ ロック式	2000 (H12)	B	a	天端被覆工、裏法被覆工：ひび割れ 表法被覆工：目地・打継	天端被覆工、裏法被覆工：撤去・打換え 表法被覆工：モルタル充填
		9号陸閘	2	39	7.00	横引式ゲート アルミニウム合金製 手動式	1985 (S60)	○		顕著な変状は認められず監視継続	扉体、戸当り、開閉装置：2035年（更新） 水密部：2027年（取替）
10号陸閘	5	63	4.00	横引式ゲート アルミニウム合金製 手動式	2006 (H18)	○		顕著な変状は認められず監視継続	扉体、戸当り、開閉装置：2056年（更新） 水密部：2027年（取替）		

*1 水門・陸閘等の健全度は設備部分の評価結果。

常滑市漁港海岸長寿命化計画策定業務委託 ライフサイクルコスト一覧表（鬼崎地区1／2）

海岸名	地区名	施設名	一定区 間 No.	漁港 台帳 番号	延長等 (m)	構造	竣工年月日等	健全度	変状 ランク 代表値	部材／主な変状	対策工法・部材
鬼崎漁港	鬼崎地区	8号防潮堤	1	17	L=170.6	コンクリート	昭和28年度	B	a	波返工：ひび割れ、鉄筋腐食 表法被覆工：目地ずれ	波返工：撤去・打換え 表法被覆工：張りコンクリート
		7号防潮堤	2	16	L=446.0	コンクリート	昭和28, 29年度 昭63, 平成8年度 一部補修	A	a	波返工：ひび割れ 天端被覆工：空洞 表法被覆工：鉄筋腐食 裏法被覆工：ひび割れ	波返工：撤去・打換え 天端被覆工：空洞充填 表法被覆工：断面修復 裏法被覆工：張コンクリート
		榎戸防潮壁	3	36	L=819.7	直立堤 コンクリート	昭和37, 38年度	C	c	顕著な変状は認められず経過観察	—
		6号防潮堤	4	15	L=35.0	コンクリート	不詳	A	a	天端被覆工：空洞 表法被覆工：ひび割れ	天端被覆工：空洞充填 表法被覆工：張コンクリート
		5号防潮堤	5	14	L=319.7	コンクリート	昭和29年度 平成7, 8年度 一部補修	B	a	波返工：剥離・損傷	波返工：撤去・打換え
		4号防潮堤	6	13	L=30.1	コンクリート	昭和29年度	C	c	顕著な変状は認められず経過観察	—
		3号防潮堤	7	12	L=701.0	コンクリート	昭和29, 30, 31年度 平成8年度 一部補修	A	b	天端被覆工：ひび割れ 天端被覆工：空洞	天端被覆工：撤去・張換え 天端被覆工：空洞充填
		2号防潮堤	8	11	L=312.0	コンクリート	昭和35, 36年度	A	a	天端被覆工：ひび割れ 天端被覆工：空洞	天端被覆工：撤去・張換え 天端被覆工：空洞充填
		1号防潮堤	9	10	L=170.0	コンクリート	昭和35, 36年度	B	a	波返工：ひび割れ	波返工：撤去・打換え

常滑市漁港海岸長寿命化計画策定業務委託 ライフサイクルコスト一覧表（鬼崎地区2/2）

海岸名	地区名	施設名	一定区間No.	漁港台帳番号	延長等(m)	構造	竣工年月日等	健全度*1	変状ランク代表値	部材/主な変状	対策工法・部材
鬼崎漁港	鬼崎地区	9号突堤	10	35	L=30.0	混成堤 コンクリート	昭和33年度	B	a	表法被覆工：ひび割れ、剥離・損傷 裏法被覆工：ひび割れ、剥離・損傷 根固工：移動・散乱	表法被覆工：撤去・打換え 裏法被覆工：撤去・打換え 根固工：補充
		10号突堤	11	150	L=40.0	捨石堤 粗石	平成12,13年度	D	d	顕著な変状は認められず経過観察	—
		8号突堤	12	34	L=80.0	直立堤 コンクリート	昭和36~37年度	C	b	天端被覆工：剥離・損傷	天端被覆工：撤去・張換え
		7号突堤	13	33	L=30.0	捨石堤 粗石	昭和28年度	B	a	天端被覆工、表法被覆工、裏法被覆工： ゆるみ	天端被覆工、表法被覆工、裏法被覆工： 補充
		6号突堤	14	32	L=30.0	捨石堤 粗石	不詳	B	a	天端被覆工、表法被覆工、裏法被覆工： ゆるみ	天端被覆工、表法被覆工、裏法被覆工： 補充
		11号突堤	15	152	L=54.0	捨石堤 粗石	平成19年度	B	a	裏法被覆工：ゆるみ	裏法被覆工：補充
		3号突堤	16	29	L=43.5	混成堤 コンクリート	昭和37,38年度	C	b	根固工：移動・散乱	根固工：補充
		榎戸2号陸閘	3	84	L=12.0	横引式 鉄	昭和44年度	○		顕著な変状は認められず監視継続	水密部：取替・更新（2037年）
		榎戸3号陸閘		85	L=3.5	横引式 鉄	昭和38年度	×		扉体、戸当り：腐食（孔食）	扉体・戸当り製作、据付 *2
		榎戸4号陸閘		86	L=3.5	横引式 鉄	昭和38年度	×		扉体、戸当り：腐食（孔食）	扉体・戸当り製作、据付 *2
		新田陸閘	6	116	L=8.0	横引式 アルミ	平成8年度	○		顕著な変状は認められず監視継続	水密部：取替・更新（2038年）
		蒲池陸閘	8	82	L=4.2	横引式 ステンレス	昭和35年度 平成4年度改修	△		扉体：発錆	水密部：取替・更新（2034年）
蒲池水門	18	L=3.0		上下式 鉄	昭和38年度年	△		付帯施設：手摺、階段の発錆・塗装剥がれ	開閉装置：取替・更新（2023年）		

*1 水門・陸閘等の健全度は設備部分の評価結果。

*2 施設利用状況から、今後統廃合について検討を行う。

常滑市漁港海岸長寿命化計画策定業務委託 ライフサイクルコスト一覧表（苅屋漁港海岸 苅屋地区）

海岸名	地区名	施設名	一定区 間 No.	漁港 台帳 番号	延長等 (m)	構造	竣功年等	健全度	変状 ランク 代表値	部材／主な変状	対策工法・部材
苅屋 漁港	苅屋 地区	加茂護岸B型	1	59	209.0	傾斜型 捨石式	1997 (H9)	D	d	顕著な変状は認められず経過観察	—
		加茂護岸	2	57	194.0	緩傾斜型 (階段式) コンクリート被覆 ブロック式	1995 (H7)	B	a	波返工、天端被覆工、表法被覆工：ひび割れ	波返工：樹脂・モルタル注入、撤去・打換え 天端被覆工、表法被覆工：樹脂・モルタル注
		加茂護岸B型	3	58	278.4	傾斜型 捨石式	1997 (H9)	D	d	顕著な変状は認められず経過観察	—
		9号防潮堤	4	26	53.0	傾斜型 コンクリート張り式	1961 (S36)	C	b	波返工：ひび割れ、目地段差 天端被覆工：沈下・陥没、目地開き、目地段差 裏法被覆工：ひび割れ、目地開き	波返工：樹脂・モルタル注入、モルタル充填 天端被覆工：撤去・張替え、モルタル充填 裏法被覆工：樹脂・モルタル注入、モルタル充填
		8号防潮堤	5	24	53.7	傾斜型 コンクリート張り式	1964 (S39)	B	a	天端被覆工：沈下・陥没 表法被覆工：剥離・損傷 裏法被覆工：ひび割れ	天端被覆工：撤去・張換え 表法被覆工：張コンクリート 裏法被覆工：張コンクリート、樹脂・モルタル注入
		7号防潮堤	6	20	191.6	傾斜型 コンクリート張り式	1961 (S36)	C	c	表法被覆工：剥離・損傷 裏法被覆工：ひび割れ	表法被覆工：断面修復 裏法被覆工：樹脂・モルタル注入
		6号防潮堤	7	17	104.2	傾斜型 コンクリート張り式	1961 (S36)	C	b	波返工：目地段差 天端被覆工：ひび割れ、目地段差、沈下・陥没 裏法被覆工：ひび割れ	波返工：モルタル充填 天端被覆工：樹脂・モルタル注入、モルタル充填、撤去・張換え 裏法被覆工：樹脂・モルタル注入
		取付防潮堤	8	13	20.6	直立型 重力式	1962 (S37)	C	b	波返工：目地開き 天端被覆工：ひび割れ、沈下・陥没	波返工：モルタル充填 天端被覆工：撤去・張換え、樹脂・モルタル注入
		5号防潮堤	9	12	50.6	直立型 重力式	1963 (S38)	C	b	天端被覆工：沈下・陥没 裏法被覆工：沈下・陥没、目地開き	天端被覆工：撤去・張換え 裏法被覆工：撤去・張換え、モルタル充填
		4号防潮堤	10	10	158.9	傾斜型 コンクリート張り式	1987 (S62)	B	a	波返工：目地開き、ひび割れ、目地段差 天端被覆工：ひび割れ 表法被覆工：目地開き 裏法被覆工：ひび割れ	波返工：モルタル充填、樹脂・モルタル充填 天端被覆工：樹脂・モルタル充填 表法被覆工：モルタル充填 裏法被覆工：撤去・張換え、樹脂・モルタル充填
		3号防潮堤	11	9	214.7	傾斜型 コンクリート張り式	1992 (H4)	A	a	波返工：ひび割れ 天端被覆工：沈下・陥没、ひび割れ、 剥離・損傷、空洞 裏法被覆工：ひび割れ、目地開き	波返工：樹脂・モルタル注入、撤去・打換え 天端被覆工：撤去・打換え、樹脂・モルタル注入、空洞充填 裏法被覆工：樹脂・モルタル注入、モルタル充填

*1 水門・陸閘等の健全度は設備部分の評価結果。

常滑市漁港海岸長寿命化計画策定業務委託 ライフサイクルコスト一覧表（苅屋漁港海岸 苅屋地区）

海岸名	地区名	施設名	一定区 間No.	漁港 台帳 番号	延長等 (m)	構造	竣功年等	健全度	変状 ランク 代表値	部材／主な変状	対策工法・部材
苅屋漁港	苅屋地区	2号防潮堤	12	4	351.8	傾斜型 コンクリート張り式	1992 (H4)	A	a	波返工：ひび割れ、剥離・損傷 天端被覆工：剥離・損傷、沈下・陥没、空洞、ひび割れ 裏法被覆工：ひび割れ、目地開き、剥離・損傷、目地ずれ 消波工：欠損	波返工：樹脂・モルタル注入、撤去・打換え、断面修復 天端被覆工：撤去・張換え、空洞充填、樹脂・モルタル注入 裏法被覆工：モルタル充填、樹脂・モルタル注入、撤去・張換え 消波工：ブロック撤去・補充
		1号防潮堤	13	3	302.8	傾斜型 コンクリート張り式	1991 (H3)	B	a	波返工：ひび割れ、目地段差、目地ずれ 天端被覆工：沈下・陥没、ひび割れ、 裏法被覆工：ひび割れ、目地開き、目地ずれ	波返工：撤去・打換え、樹脂・モルタル注入、モルタル充填 天端被覆工：撤去・張換え、樹脂・モルタル注入 裏法被覆工：樹脂・モルタル注入、モルタル充填
		6号突堤	14	29	41.0	直立型 コンクリート方塊ブ ロック式	1961 (S36)	C	b	天端被覆工：剥離・損傷	天端被覆工：断面修復、撤去・張換え
		5号突堤	15	27	78.3	直立型 コンクリート方塊ブ ロック式	1959 (S34)	D	d	顕著な変状は認められず経過観察	—
		3号突堤	16	8	27.0	傾斜型 捨石式	1961 (S36)	B	a	天端被覆工：ゆるみ（崩壊）	天端被覆工：被覆石・基礎捨石補充
		2号突堤	17	2	25.9	傾斜型 捨石式	不詳 (不詳)	B	a	天端被覆工：ゆるみ（抜け）	天端被覆工：被覆石補充
		1号突堤	18	1	34.4	傾斜型 捨石式	不詳 (不詳)	B	a	天端被覆工：ゆるみ（抜け）	天端被覆工：被覆石補充
		苅屋1号防潮門 扉 (7号防潮堤)	6	60	2.00	横引きゲート 鋼製 手動式	1961 (S36)	△		戸当たり：腐食（孔食）	扉体、戸当り：2030年（更新） 水密部：2025年（取替）
		苅屋4号防潮門 扉 (6号防潮堤)	7	63	6.00	横引きゲート アルミニウム合金 製 手動式	2004 (H16)	○		顕著な変状は認められず経過観察	扉体、戸当り：2054年（更新） 水密部：2025年（取替）
		古場1号門扉 (2号防潮堤)	12	66	2.30	横引きゲート 鋼製 手動式	-	△		門扉：腐食（孔食）	扉体、戸当り：2042年（更新） 水密部：2034年（取替）
境川水門	8	13	3.00	上下式 3門 鋼製 手動式	1962 (S37)	C	c	堰柱：剥離・損傷 カーテンウォール：剥離・損傷 門柱：ひび割れ	堰柱：断面修復 カーテンウォール：断面修復 門柱：樹脂・モルタル注入		

*1 水門・陸閘等の健全度は設備部分の評価結果。

常滑市漁港海岸長寿命化計画策定業務委託 ライフサイクルコスト一覧表（苅屋漁港海岸 苅屋地区）

海岸名	地区名	施設名	一定区間No.	漁港台帳番号	延長等(m)	構造	竣功年等	健全度	変状ランク代表値	部材／主な変状	対策工法・部材	
苅屋漁港	苅屋地区	北前川水門	11	5	1.7	上下式 2門 木製 手動式	1961 (S36)	C	C	函体：剥離・損傷・隔離	函体：断面修復	
		境川水門 (取付防潮堤)	8	13	3.00	上下式 3門 鋼製 手動式	1962 (S37)	△		門扉：腐食（孔食） 戸当たり：腐食（孔食）	扉体、戸当り、開閉装置：2027年（更新） 水密部：2048年（取替）	
		北前川水門 (3号防潮堤)	11	5	1.7	上下式 2門 木製 手動式	1961 (S36)	△		当たり：腐食（孔食）	扉体、戸当り、開閉装置：2022年（更新） 水密部：2043年（取替）	

*1 水門・陸閘等の健全度は設備部分の評価結果。

常滑市漁港海岸長寿命化計画策定業務委託 ライフサイクルコスト一覧表（小鈴谷漁港海岸 大谷地区）

海岸名	地区名	施設名	一定区 間 No.	漁港 台帳 番号	延長等 (m)	構造	竣工年等	健全度	変状 ランク 代表値	部材／主な変状	対策工法・部材
小鈴谷漁港	大谷地区	6号防潮堤	1	7	229.6	傾斜型 コンクリート張り式	1982 (S57)	C	b	波返工：ひび割れ、目地段差、目地ずれ 天端被覆工：ひび割れ、沈下・陥没 表法被覆工：ひび割れ、剥離・損傷 裏法被覆工：ひび割れ 消波工：ブロック破損	波返工：樹脂・モルタル注入、モルタル充填 天端被覆工：撤去・張換え、モルタル充填 表法被覆工：樹脂・モルタル注入、断面修復 裏法被覆工：樹脂・モルタル注入 消波工：ブロック撤去・補充
		5号防潮堤	2	6	148.3	傾斜型 コンクリート張り式	1995 (H7)	C	b	波返工：ひび割れ 天端被覆工：ひび割れ、沈下・陥没、目地開き 表法被覆工：ひび割れ 裏法被覆工：ひび割れ、目地開き	波返工：樹脂・モルタル注入 天端被覆工：撤去・張換え、モルタル充填、樹脂・モルタル注入 表法被覆工：樹脂・モルタル注入 裏法被覆工：モルタル充填、樹脂・モルタル注入
		4号防潮堤	3	5	18.7	傾斜型 コンクリート張り式	1963 (S38)	C	b	天端被覆工：沈下・陥没、ひび割れ	天端被覆工：撤去・張換え、樹脂・モルタル注入
		取付防潮堤	4	9	30.4		1963 (S38)	B	a	波返工：目地ずれ 天端被覆工：ひび割れ、目地段差 表法被覆工：ひび割れ、目地開き 裏法被覆工：ひび割れ	波返工：モルタル充填 天端被覆工：撤去・張換え、樹脂・モルタル注入 表法被覆工：樹脂・モルタル注入、モルタル充填 裏法被覆工：撤去・張換え
		3号防潮堤	5	4	53.7	傾斜型 コンクリート張り式	1963 (S38)	C	b	天端被覆工：沈下・陥没、ひび割れ 表法被覆工：ひび割れ	天端被覆工：撤去・張換え、樹脂・モルタル注入 表法被覆工：樹脂・モルタル注入
		2号防潮堤	6	3	276.2	傾斜型 コンクリート張り式	1963 (S38)	B	a	波返工：ひび割れ、剥離・損傷 天端被覆工：目地開き 表法被覆工：ひび割れ、剥離・損傷、目地開き 裏法被覆工：ひび割れ 排水工：破損（蓋）	波返工：撤去・打換え、樹脂・モルタル注入、断面修復 天端被覆工：モルタル充填 表法被覆工：モルタル充填、樹脂・モルタル注入、断面修復 裏法被覆工：樹脂・モルタル注入 排水工：既製品購入入換え
		1号防潮堤	7	2	115.8	傾斜型 コンクリート張り式	1963 (S38)	C	b	波返工：剥離・損傷 天端被覆工：沈下・陥没 表法被覆工：剥離・損傷、目地開き 裏法被覆工：剥離・損傷	波返工：断面修復、撤去・打換え 天端被覆工：撤去・打換え 表法被覆工：断面修復、モルタル充填、モルタル充填 裏法被覆工：断面修復
		7号突堤	8	16	24.0	直立型 コンクリート 方塊式	不詳 (不詳)	B	a	天端被覆工：剥離・損傷 表法被覆工：剥離・損傷 裏法被覆工：剥離・損傷	天端被覆工：撤去・張換え 表法被覆工：撤去・張換え 裏法被覆工：撤去・張換え
		2号突堤	9	11	28.3	傾斜型 捨石式天端 コンクリート張り	1966 (S41)	B	a	表法被覆工：ひび割れ 裏法被覆工：剥離・損傷、ひび割れ	表法被覆工：撤去・張換え 裏法被覆工：撤去・張換え、樹脂・モルタル注入
		1号突堤	10	10	19.2	直立型 コンクリート 方塊式	不詳 (不詳)	B	a	天端被覆工：剥離・損傷 表法被覆工：剥離・損傷 裏法被覆工：剥離・損傷	天端被覆工：撤去・張換え 表法被覆工：撤去・張換え 裏法被覆工：撤去・張換え
				大谷川水門	4	9	8.5	上下式 2門 鉄製 手動式	1963 (S38)	D	d

*1 水門・陸閘等の健全度は設備部分の評価結果。

常滑市漁港海岸長寿命化計画策定業務委託 ライフサイクルコスト一覧表（小鈴谷漁港海岸 大谷地区）

海岸名	地区名	施設名	一定 区 間 No.	漁 港 台 帳 番 号	延長等 (m)	構造	竣工年等	健全度	変状 ラン ク 代 表 値	部材／主な変状	対策工法・部材	
小鈴谷漁港	大谷地区	1号陸閘	2	51	6.0	横引き式ゲート アルミニウム 合金製手動式	1995 (H7)	○		顕著な変状は認められず経過観察	扉体、戸当り：2046年（更新） 水密部：2037年（取替）	
		大谷川水門 (取付防潮堤)	4	9	3.0	上下式 2門 鉄製 手動式	1963 (S38)	○		顕著な変状は認められず経過観察	扉体、戸当り、開閉装置：2023年（更新） 水密部：2044年（取替）	

*1 水門・陸閘等の健全度は設備部分の評価結果。

常滑市漁港海岸長寿命化計画策定業務委託 ライフサイクルコスト一覧表（小鈴谷漁港海岸 小鈴谷地区）

海岸名	地区名	施設名	一定区間No.	漁港台帳番号	延長等(m)	構造	竣工年等	健全度	変状ランク代表値	部材/主な変状	対策工法・部材
小鈴谷漁港	小鈴谷地区	6号護岸	1	8	117.5	傾斜型 コンクリート張り式	1977 (S52)	B	a	天端被覆工：ひび割れ 表法被覆工：剥離・損傷	天端被覆工：樹脂・モルタル注入 表法被覆工：張コンクリート
		5号護岸	2	7	102.2	傾斜型 コンクリート張り式	1978 (S53)	B	a	波返工：ひび割れ 天端被覆工：ひび割れ 表法被覆工：ひび割れ、剥離・損傷、 沈下・陥没	波返工：撤去・打換え 天端被覆工：樹脂・モルタル注入 表法被覆工：断面修復、撤去・張換え、樹脂・モルタル注入
		4号護岸	3	6	364.4	傾斜型 コンクリート張り式	1983 (S58)	C	b	波返工：ひび割れ 天端被覆工：ひび割れ、沈下・陥没	波返工：樹脂・モルタル注入 天端被覆工：樹脂・モルタル注入、撤去・張換え
		3号護岸	4	5	163.2	傾斜型コンクリート張り式 (堤防:A、B-1型) (護岸:B-2、C、D型)	1979 (S54)	B	a	波返工：ひび割れ 天端被覆工：沈下・陥没 表法被覆工：ひび割れ、剥離・損傷、 沈下・陥没	波返工：撤去・打換え、樹脂・モルタル注入 天端被覆工：撤去・張換え 表法被覆工：樹脂・モルタル注入、張コンクリート、断面修復、 モルタル充填
		2号護岸	5	4	103.1	傾斜型 コンクリート張り式	1981 (S56)	C	c	波返工、天端被覆工：ひび割れ 表法被覆工：剥離・損傷	波返工、天端被覆工：樹脂・モルタル注入 表法被覆工：断面修復
		1号護岸	6	3	61.0	傾斜型 コンクリート張り式	1981 (S56)	C	c	天端被覆工：ひび割れ	天端被覆工：樹脂・モルタル注入
		6号突堤	7	14	25.0	傾斜型 石積式	不詳 (不詳)	B	a	天端被覆工：剥離・損傷（崩壊） 表法被覆工：剥離・損傷（崩壊） 裏法被覆工：剥離・損傷（崩壊）	天端被覆工：撤去・張換え 表法被覆工：撤去・張換え、基礎捨石補充 裏法被覆工：撤去・張換え、基礎捨石補充
		2号突堤	8	10	17.5	混成型 コンクリート方塊ブロック 積式	不詳 (不詳)	C	b	天端被覆工：剥離・損傷 表法被覆工：剥離・損傷 裏法被覆工：剥離・損傷	天端被覆工：撤去・張換え 表法被覆工：撤去・張換え 裏法被覆工：撤去・張換え
		1号突堤	9	9	16.5	混成型 コンクリート方塊ブロック 積式	不詳 (不詳)	C	b	天端被覆工：ひび割れ、剥離・損傷	天端被覆工：樹脂・モルタル注入、断面修復、張コンクリート
		小鈴川谷水門	4,5	2	1.9	上下式 ステンレス製 手動式	1996 (H8)	B	a	函体：剥離・損傷	函体：断面修復、断面修復(ホリマー)
2号陸閘 (4号護岸)	3	40	7.0	横引き式 アルミニウム合金製 手動式	1982 (S57)	○		顕著な変状は認められず経過観察	扉体、戸当り：2032年（更新） 水密部：2024年（取替）		

*1 水門・陸閘等の健全度は設備部分の評価結果。

常滑市漁港海岸長寿命化計画策定業務委託 ライフサイクルコスト一覧表（小鈴谷漁港海岸 小鈴谷地区）

海岸名	地区名	施設名	一定区間No.	漁港台帳番号	延長等(m)	構造	竣工年等	健全度	変状ランク代表値	部材/主な変状	対策工法・部材	
小鈴谷漁港	小鈴谷地区	1号陸閘 (3号護岸)	4	28	5.0	片開式 鉄製 手動式	-	-		廃止	-	
		小鈴谷川水門 (3号、2号護岸)	4,5	2	1.9	上下式 ステンレス製 手動式	1996 (H8)	△		扉体：ごみ、流木、土砂等 開閉装置：損傷	開閉装置：2030年（更新） 扉体、戸当り：2046年（更新） 水密部：2038年（取替）	

*1 水門・陸閘等の健全度は設備部分の評価結果。